

水戸市男女平等参画推進月間事業

ヒューマンライフ シンポジウム2014

時代の窓をひらいた

ひとひと
女と男



《 基調講演 》

女性が仕事を
するということ

直木賞受賞「恋歌」著者
朝井まかて 氏

《 トーク&トーク 》



小畑のり子 氏
(弘道館学芸員)



阿部 重典 氏
(茨城放送アナウンサー)

平成26年
9/27
(土)

会 場

エクセルホール (水戸駅ビルエクセル6階)

開場: 12時30分 開演: 13時00分 定員: 250名

※お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

申込・問合せ

参加・保育のお申込み及びお問い合わせは

水戸市男女平等参画課 TEL 029-226-3161

〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 (茨城いすゞビル4階)

要申込

※前にお申し込みください。

入場無料

ただし会場費が必要です。

一時保育

手話通訳あり

主催/水戸市 企画運営/NPO法人 M・I・T・O 21 後援/NHK水戸放送局 茨城放送

時代の窓をひらいた ひと女と男 ひと

男女平等参画社会の実現に向けて、多くの市民が共に語り合い、共に考えることを目的にシンポジウムを開催します。

今回は、「時代の窓をひらいた ひと女と男 ひと」をメインテーマとして、男女平等参画についての理解と関心を深めます。

ヒューマンライフシンポジウム2014の主な内容

■基調講演「女性が仕事をするということ」

【講師】直木賞受賞「恋歌」著者 **朝井まかて氏**
(あさい まかて)

プロフィール

1959年、大阪生まれ。甲南女子大学文学部卒業。コピーライターとして広告制作会社に勤務後、独立。2006年、第3回小説現代長編新人賞奨励賞を受賞してデビュー。受賞作は『花魁へ 向端なずな屋敷盛記』と改題され、講談社文庫に収録されている。2013年、幕末から明治を生きた歌人・中島歌子の半生を描いた『恋歌』で第3回本屋が選ぶ時代小説大賞。2014年に同書で第150回直木賞を受賞。他の著書に『ちゃんちゃら』『すかたん』『先生のお庭番』『ぬけまいる』。最新作『阿蘭陀西鶴』が2014年9月刊行予定。



■トーク&トーク

直木賞受賞作家 **朝井まかて氏**

弘道館学芸員 **小坪のり子氏**

【コーディネーター】茨城放送アナウンサー **阿部 重典氏**

お申し込み方法

電話または、FAXに住所、氏名、電話番号を記入のうえ、水戸市男女平等参画課へお申し込みください。

保育について

生後6か月から未就学児が対象の一時保育です。ご希望の方は、水戸市男女平等参画課へ9月18日(木)までに電話でお申し込みください。申込者多数の場合はご希望に添えないことがあります。予めご了承ください。

平成26年度 ヒューマンライフシンポジウム2014のお申し込み・お問い合わせは

水戸市男女平等参画課

〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 茨城いすゞビル4階
TEL.029-226-3161 / FAX.029-226-3162